



#### 【Ⅳ. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・県内中小企業者の資金繰り改善等に資するため、金融機関と協調して3,947件、39,942,464千円(25年3月末保証承諾ベース)の各種制度資金融資を行い効果的な金融対策の推進に努めた。
②	・未就学児童を持つ職業訓練受講者を支援するため、保育料助成や託児サービス付き訓練を実施しているが、利用者が130人(H23年度は121人)と年々増加傾向にあり、女性の再就職支援が図られた。
③	・県内の高校3年生が一堂に会する「元気おいた就職博」を毎年7月に開催しているが、参加者が2,029人(H23年度は1,850人)と定着しているイベントであり、新規学卒者に対して、県内企業が自社の魅力を直接アピールできる機会を提供できた。

#### 【Ⅴ. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(24年度事業)	事業コスト(千円)	25年度の実施状況	主要な施策の成果掲載頁
①	中小企業金融対策費	33,211,029	継続	144
②	子育て支援企業ステップアップ事業	19,857	終了	146
	緊急雇用新規学卒者・若年者就業支援事業	187,185	継続	147
	緊急雇用女性就業支援事業	25,809	継続	148
	障がい者雇用総合推進事業	31,524	継続	149
	離職者等能力開発促進事業	437,164	継続	150
③	おおいたマイスター育成大作戦推進事業	9,891	終了	151
	ものづくり人材育成支援強化事業	7,892	継続	152

#### 【Ⅵ. 施策に対する意見・提言】

<p>○「安心・活力・発展プラン2005」推進委員会(H24.7)</p> <p>・大学が実施しているキャリア開発、就業支援などの取組と企業等が求めていることがマッチングしているかを検証していく必要がある。</p> <p>○「安心・活力・発展プラン2005」推進委員会(H24.10)</p> <p>・子育てを終わった30代・40代の女性の力をもっと活かせる再就職支援などの仕組みづくりが重要。</p>	
---	--

#### 【Ⅶ. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求職者目線に立った採用戦略の策定や魅力発信等、中小企業等の採用力を高め、企業と求職者双方のニーズに合ったマッチングを促進することで、企業の人材確保を支援するとともに、九州トップクラスの職場定着を目指す。また、UJターン就職支援の取組を充実することで、県内だけでは充足が難しい即戦力人材の県内就職を促進する。</li> <li>・労働力人口が減少する中、本県経済の持続的発展を図るため、企業のニーズに応える人材を育成し、産業基盤を支える中小企業の更なる振興に努める。</li> <li>・県下全6障がい福祉圏域に設置された障害者就業・生活支援センターを拠点として、障がい者及び企業に対する地域の実情に応じたきめ細かい支援を行い、障がい者の一般就労に向けた取組を実施する。</li> <li>・女性が希望する様々な就業形態に応じた再就職支援や就業機会の確保をするため、女性の就業ニーズに応じた職業訓練を実施し、再就職に必要な知識・技能の習得等スキルアップを図る。</li> <li>・経営戦略としてのワーク・ライフ・バランス推進を目指し、新規にワーク・ライフ・バランス実践支援事業を実施する。</li> <li>・経営の拡大、新分野への進出など前向きな取り組みや、経営者自らが、経営課題を認識し、意欲を持って取り組む経営改善、事業再生等に対して積極的な金融支援を行う。</li> </ul>